

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 小川 直人

記入日 3月20日

所属政党 無所属(脱党) 選挙区 厚別区

<アンケート回答記入欄>

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例:①)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1.	A-1	障害者が施設ではなく生活エリアの地域で暮らすことは、当然の権利(権利)であり、地域として障害者をサポートしていくことが大事。
Q2.	A-1	当然のニーズを用意し、限られた財源の中で、有るがるサービスを提供できるように努めるべき。
Q3.	A-1	費用負担の原則は必要。
Q4.	A-1	移動支援の利用範囲を拡大するべき。
Q5.	A-1	公共施設をバリアフリー化すべき。
Q6.	A-1	教育については、当然公同サービスとするべき。
Q7.	A-1	障害者の自立をサポートするため、まず、行政サービスの範囲を示すべき。法定雇用率制度を実績ある制度に転換し。
Q8.	A-1	社会の互理解促進に同じ、札幌市政として責任を持って取り組むべき。
Q9.	A-2	定額給付金例による様々な給付の試行が必要。
Q10.		障害者が地域で安心して安全に暮らせる制度を政府に転換すべき。 公共施設等のバリアフリー化を推進し、障害者が社会の一員として自立し、暮らせる様、地域にも協働し、行政としてしっかり取り組むべき。

回答が速く列入変更申請ありがとうございました。
直ぐに所属を申し替えます。 小川直人